

5歳児保育指導案

- 1 日時・場所 平成30年11月8日(木) 9時00分～11時30分
基町幼稚園 園庭・各保育室
- 2 対象児 5歳児 ほし組20名(男児8名 女児12名)
- 3 主な活動の内容 「みんなで一緒に遊ぼう」
- 4 幼児の姿

- 登園後、身支度を済ませると、絵本を読んで朝の会までの時間を過ごしている。中には、3歳児の世話をしに行ったり、友達と遊びの相談をしたりする姿が見られる。当番活動の順番が来ることを心待ちにしており、必要な言葉を話したり、職員室からの伝言を友達に話したりして、当番の仕事を自覚し進んで行っている。絵本の読み聞かせでは、教師が絵本を用意すると近くに進んで集まり、感じたことや思ったことをつぶやくなど集中して見る幼児が多い。
- 運動会を通していろいろな運動遊びに積極的に取り組む幼児が増えてきた。その中でできるようになっていく喜びや友達と一緒に体を動かす楽しさを味わい、友達にやり方を教えたり励ましたりしながら互いの頑張りを認め合う姿も見られる。
また、1学期から楽しんできたごっこ遊びが広がり、友達と一緒に必要な物を準備したり、友達と考えを出し合って遊びを進めたりする姿が見られる。ルールのある遊びでは、きっかけづくりをすると自分たちで遊びを進めるが、自分の思うように遊びを進めたり、遊びのルールを間違えている友達に強い口調で指摘してトラブルになったり、自分の思いをうまく伝えられずその場から離れたりする幼児もいる。
- 遊びを振り返る「にこにこニュース」の時間には、遊びの中で楽しかったこと、友達にしてもらって嬉しかったことなど、積極的に手を挙げて話をするようになってきている。また、友達の頑張っている姿に気づき、友達のよいところについて話す姿も見られるようになってきている。一方、話したい気持ちが強く、人の話を最後まで聞けていない姿もある。

5 指導にあたって

- 当番活動では、自分から進んで取り組んでいる姿を認め自信をもって取り組めるようにしていきたい。絵本の読み聞かせでは、子供たちが絵本の表現や物語の世界に触れられるよう幼児の遊びや姿に合わせて絵本を選び、落ち着いた雰囲気となるような声のトーンや大きさに心掛けていきたい。
- 自分の思いや考えを一方的に主張したり、相手に分かるように伝えられなかったりしてトラブルになった時には、互いの思いや考えを受け止め、違いに気付けるようにしていきたい。また、一人一人の思いに応じながら、遊びをより楽しくするための方法を共に考え、実現できるようにしていきたい。
- 「にこにこニュース」の時間では、子供たちの気づきや思いに共感しながら、教師が気付いた一人一人のよさを具体的に伝えることで、自分や友達のよさ、そして自分と友達との思いの違いなどに気付けるようにしていきたい。

6 ねらい・内容

- 友達と思いや考えを出し合いながら遊びを進めていく楽しさを味わう。
 - ・友達と考えを出し合い、受け入れたり協力したりして遊ぶ。
 - ・自分なりのめあてをもって遊ぶ。